

| | | | |
|------------|-------|----------|--------|
| 科目名 | 単位数 | 指導学年・類・型 | 必修・選択 |
| スーパー演習（国語） | 2 | 3年・2類 | 選択 |
| 授業担当者 | 教科書名 | | 副教材等 |
| **** | プリント等 | | 入試過去問等 |

| |
|---|
| <p>科目の到達目標</p> <p>入試国語の現代文の力をつけることを目指すとともに、総合型選抜や学校推薦型選抜における小論文やプレゼンテーションの力をつけることも目指していきたい。</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査と平常点（課題提出状況、授業における取り組み等）を加味して総合的に判断する。</p> |
|---|

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-------------|---|--------------------|---|--|---|
| 一 学 期 | 4 | ・評論と新聞記事と写真からの読み取り | ・写真や新聞記事、図表から読み取れることを説明できるようになる。 | ・テーマについて論じられた評論と、それに関わりのある写真や図表を合わせて読み取ることでテーマへの理解を深める。 | ・評論の内容を正確に読み取れているか。 |
| | 5 | ・評論と図表からの読み取り | ・資料から読み取った内容から、メリットとデメリットや課題を見つけ出せるようになる。 | ・資料から自分が読み取った内容と他者が読み取った内容の比較検討を通して、正確な情報の読み取り方と、読み取った情報や自分の考えを他者に分かるように説明する練習をする。 | ・写真や図表などの資料から正確な情報を読み取れているか。 |
| | 6 | ・図表と文章からの読み取り | ・資料読み取り型小論文 | ・課題に対する解決策の提案ができるようになる。 | ・メリット・デメリット・課題を見つけ出せているか。 |
| | 7 | <期末考査> | | ・テーマについて考察を深め、課題と解決策を導き出し、小論文に仕上げる。 | ・自分なりの考察ができているか。 ・論理立てて小論文として表現できているか。 |

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-------------|----|--|--|---|--|
| 二 学 期 | 9 | ・志望する学部に関する社会問題についての考察。 | ・他者の意見に耳を傾ける姿勢を養う。 | ・同じ分野を志望する仲間と意見を出し合うことで考察を深め、課題を明確にし、解決策を検討する。 | ・積極的に取り組んでいるか。 |
| | 10 | ・グループにおける協働作業 | ・自分の意見をわかりやすく説明できるようになる。 | ・対立する意見の場合も議論を重ねることでよりよい方向性を生み出せるよう検討する。 | ・他者と協働できているか。 |
| | 11 | ・グループ発表 ・過去問テーマについて考察。 ・プレゼンテーション ・質疑応答・評価・改善点の考察 | ・他者と協働して目標を達成できるようになる。 | ・役割を分担して協力して資料を作成し、グループ発表をする。 ・出てくるだろう疑問を予想して、答えを用意しておく。 | ・自分の役割に責任をもってとりにくんでいるか。 |
| | 12 | <期末考査> | ・テーマについて自分の考えを説明できるようになる。 ・プレゼンテーション資料を作成できる。 ・一人で発表し、質疑に対して明確に回答できるようになる。 | ・自分の志望大学・学部の過去問または、それから予測されるテーマについて調べ、考察する。 ・プレゼンテーション資料を作成して、決められた時間内で発表できるように練習する。 ・発表及び質疑応答について、振り返りをし、本番に向けての改善点を明確にする。 | ・テーマについて、きちんと調べ、考察できているか。 ・資料を丁寧に作成したか。 ・練習した上で発表に臨んでいるか。 ・振り返りができているか。 |
| 三 学 期 | 1 | 共通テスト対策 | | | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

期末考査は原則初見問題になります。しっかりと読む力、論述する力を身につけましょう。

| | | | |
|-----------|-------------------|------------------------|-------|
| 科目名 | 単位数 | 指導学年・類・型 | 必修・選択 |
| スーパー演習 公民 | 2 | 3年2類文型 | 選択 |
| 授業担当者 | 教科書名 | 副教材等 | |
| **** | 最新政治・経済 (実教出版) | WINSTEP 政治経済 (ラーンズ) | |

| |
|---|
| 科目の到達目標 |
| 政治・経済の大学入試共通テスト対策として、授業および問題演習・解説を通して要点の整理を行い、実践的な問題に対応できることを目指す。 |
| |
| |

| |
|---------------------------------|
| 評価の観点と方法について |
| 期末考査を行う。適宜ノート・プリント等の提出・チェックを行う。 |
| |
| |

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-----|---|-----------------|-----------------------------------|---|-------------------|
| 一学期 | 4 | 現代社会の諸課題 | 時事的内容も盛り込み、現在の国内・国際経済の動きについて理解する。 | 少子高齢社会と社会保障 地域社会の変貌と住民生活 雇用と労働をめぐる問題 産業構造の変化と中小企業 農業と食料問題 | ノート提出 期末考査 |
| | 5 | 地球環境と資源・エネルギー問題 | | 地球規模に広がる環境問題 地球温暖化 先進国と発展途上国の対立 エネルギー問題 | |
| | 6 | 国際協調と国際経済機関の役割 | | 国際通貨制度の成立と変化 南北問題と経済協力 | |
| | 7 | 国際経済の仕組み | | 自由貿易の意義 国債収支の仕組み 外国為替の仕組みと外国為替相場 外国為替相場の決定 | |
| | | 国際経済の特質 | | グローバル化する市場経済 地域的経済統合の動き アジア NIES と中国の経済成長 | |

| | 月 | | | | |
|-------------|----|-----------------------|-----------------------------------|--|--------------------|
| 二 学 期 | 9 | 国際経済における日本の役割 | 問題演習を通して経済範囲の復習と要点の整理を行い、入試対策を行う。 | 国際経済における日本 日本の経済協力 国際経済の課題と日本の役割 | |
| | 10 | 政治・経済分野の 実践問題演習・解説 | | プリント教材を使った政治分野の復習、および過去問等の実践問題演習・解説 | |
| | 11 | | | | |
| | 12 | | | | ノートまたは課題提出 期末考査 |
| 三 学 期 | 1 | | | | |

その他（ 大学等進学のための学習など ）

大学入試共通テストを倫理・政経で受験する生徒に対し、倫理分野等についての対策を行う。

| | | | |
|------------|-------------------------|----------|--------------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 指導学年・類・型 | 必修・選択 |
| スーパー演習(数学) | 2 | 3年・2類・理型 | 選択 |
| 授業担当者 | 教科書名 | | 副教材等 |
| **** | 高等学校 改訂版数学III (数研出版) | | NEW ACTION LEGEND 数学III(東京書籍)等 |

| |
|---|
| 科目の到達目標 |
| 極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する力を養う。 |

| |
|---|
| 評価の観点と方法について |
| 平素の学習意欲や学習態度を重要視し、数学的問題解決能力を課題テストで確認する。定期考査・課題テストの各成績、授業態度から総合的に評価する。 |

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント | |
|-----|---|--|--|--|---|--|
| 一学期 | 4 | 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 | 数列、関数の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 | 数学IIIの授業と並行して進めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 数列、関数値の極限について理解している。 数列、関数の極限を求めることができる。 | |
| | 5 | 第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 (確認テスト) | 関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。 | | <ul style="list-style-type: none"> 微分係数・微分可能の定義とその図形的性質を理解している。導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる。 三角関数、指数・対数関数、陰関数、媒介変数で表された関数などの導関数を理解している。 | |
| | 6 | 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 | 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。また、それらを事象の考察に活用する。 | | <ul style="list-style-type: none"> 導関数の意味を理解しており、接線の方程式を導くことができる。 平均値の定理を理解し、それを活用することができる。 関数の増減・凹凸・変曲点・漸近線などを調べ、関数のグラフをかきことができる。また、それらを利用して関数の最大値・最小値を求め、さらに方程式・不等式への応用ができる。 | |
| | | | 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用 | 積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 | | <ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の不定積分を求めることができる。 被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができる。 |

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-------------|----|---------|--|--|--|
| | 7 | (期末考査) | | 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題 ・積分法の応用 面積、体積、道のり、曲線の長さ | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な関数の定積分を求めることができる。 ・特別な形をした数列の和の極限を定積分を利用して求めることができる。 ・定積分を用いて様々な図形の面積や体積を求めることができる。 ・定積分を用いて様々な曲線の長さを求めることができる。 |
| 二 学 期 | 9 | (期末考査) | 標準問題までを確実に解く 力量を養う。 応用力をつける。 難度の高い問題を解く力量 を養う。 | 入試問題演習 数学Ⅲの問題を演習し、実践力を 養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した基本事項、定石を理解しているか確認する。 ・問題の意図を把握・考察し、実践的な問題を解くことができるか。 |
| | 10 | | | | |
| | 11 | | 数学Ⅲの入試問題演習を通して実践を積む。 | | |
| | 12 | | | | |
| 三 学 期 | 1 | | 共通テスト対策と私立・2 次試験対策を行う。 | | |

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

数学Ⅲの授業と並行してスーパー演習(数学)の履修を行う。2年次で、「第1章 複素数平面」「第2章 式と曲線」「第3章 関数」は履修をおえている。自分で解けるようになって初めて自分の力となる。自力で解くことの大切さを理解し、問題集は自力で解けるようになるまで、何度も同じ問題を解いてほしい。そうすれば、確実に数学の力はついていく。

| | | | |
|--------|----------------|----------|----------------|
| 科目名 | 単位数 | 指導学年・類・型 | 必修・選択 |
| スーパー演習 | 2 | 3年・2類 | 選択 |
| 授業担当者 | 教科書名 | | 副教材等 |
| **** | SKILLFUL (啓林館) | | 入試の過去問、模試プリント等 |

| |
|---|
| <p>科目の到達目標</p> <p>既習の基本的英文法の復習を行いながら、長文の理解を深めていく。基本事項を徹底するとともに、模試の過去問題を解くことで応用力を養成していく。</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査と平常点（小テスト、宿題やプリント等への取り組み・提出状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。</p> |
|---|

| | 月 | 学習单元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-----|--------|----------|--|---|---|
| 一学期 | 4 | Lesson1 | 各单元で学習する文法項目で復習をし、入試に対応できる基礎学力の定着を徹底的に目指す。 | 定着度を確実なものとするために、長文で使われた文法と英語表現で学んだ文法を関連させて学習していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 復習がなされているか。 ・ ポイントを理解し、運用できるようになったか。 |
| | | Lesson2 | | | |
| | | Lesson3 | | | |
| | | Lesson4 | | | |
| | | Lesson5 | | | |
| | 5 | Lesson6 | | | |
| | | Lesson7 | | | |
| | | Lesson8 | | | |
| | | Lesson9 | | | |
| | | Lesson10 | | | |
| 6 | <期末考査> | | | | |

| | 月 | 学習単元・項目 | 学習のねらい | 具体的な学習内容と方法 | 評価のポイント |
|-------------|----|----------|--------|-------------|---------|
| 二 学 期 | 9 | Lesson11 | | | |
| | | Lesson12 | | | |
| | | Lesson13 | | | |
| | | Lesson14 | | | |
| | 10 | Lesson15 | | | |
| | | 入試問題等の演習 | | | |
| | 11 | | | | |
| | 12 | <期末考査> | | | |
| 三 学 期 | 1 | 入試問題等の演習 | | | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1・2年次に学習した文法事項が基本となります。数多くの文法問題・英文に触れ、運用能力を身につけましょう。受験に向けて、「正答率50%の問題」をしっかりと解けるように、この1年間頑張りましょう。